

令和 5 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立大宮小学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。

運営に関する計画の最終評価から、コロナ禍が終わり日常を取り戻し始めた学校が様々な取り組みや体験活動を工夫しながら進め、学力や体力等様々な面で大きく成果が出ていることがよく分かった。また、その取り組みや行事をホームページや学校だより等で積極的に発信ができている。今後も大宮小学校の子どもたちのために引き続き、様々な取り組みに継続して取り組んでほしい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

【全市共通目標】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 80%以上にする。（令和 4 年度、学力経年調査の質問紙調査（3～6 年）において 93. 2%）
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【学校の年度目標】

- 令和 7 年度末の本校アンケート調査で、いじめ、規則の遵守や自己肯定感、社会貢献に関する次のそれぞれの項目について、全学年とも、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える児童の割合を以下のとおりにする。
 - ・「いじめはどんなことがあっても許されないと思う」…100%（令和 4 年度 89%）
 - ・「学校のきまり・規則を守っている」…90%（令和 4 年度 90%）
 - ・「自分にはよいところがある」…90%（令和 4 年度 86%）
 - ・「人の役に立つ人間になりたい」…90%（令和 4 年度 97%）
- 令和 7 年度末の本校アンケート調査で、「学校は生命や人権の尊さについての教育活動をよく行っている」という項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える保護者の割合を 90%以上にする。（令和 4 年度 97%）
- 令和 7 年度末の本校アンケート調査で、「学校は、地震や火災などの非常災害が起こったとき、どう行動したらよいかわかるような教育を行っている」という項目について、「思う（だいたい思う）」と回答する保護者の割合を 80%以上にする。（令和 4 年度 91%）
- 令和 7 年度末の本校アンケート調査で、「学校は、多様な体験活動を実施している」の項目について、「思う（だいたい思う）」と回答する保護者の割合を、90%以上にする。（令和 4 年度 95%）

達成状況の評価に関しては妥当であると考える。

学校は、子どもや家庭の課題に丁寧に向き合っている。今後も引き続き、一人一人の子どもを大切にする取り組みを進めてほしい。

不登校の子どもが学校に来ることができない状況から、少しでもいい方向にいくように関係諸機関とも連携をしながら、粘り強く支援を続けてほしい。地域もできることがあれば協力したい。

今年度も、地域とともに避難訓練・防災体験も実施することができ、有意義な時間となつた。来年度もぜひお願いしたい。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

【全市共通目標】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。(令和4年度 36.2%)
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。標準偏差値を小さくする。
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(令和4年度 73.6%)
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(令和4年度 84.3%)
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を68%以上にする。(令和4年度全国体力・運動能力調査において、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合は65.5%)

【学校の年度目標】

- ・令和7年度までの全国学力・学習状況調査において、国語、算数とも、全国平均より平均正答率を高くする。※理科がある年度は理科も含める。
- ・令和5年度以降、大阪市経年学力調査（国語・算数・理科・社会）について、平均正答率を市平均以上にするとともに昨年度の標準化得点と同等もしくは高くなる。
- ・令和7年度末の本校アンケート調査や経年調査で、「学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」の質問に「全くしない・30分より少ない」と答える児童の割合を10ポイント減少させる。(令和4年度は経年調査 28%)
- ・令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査で、すべての種目の結果を全国平均の水準以上にする。
- ・令和7年度末の本校アンケート調査で、「『早寝、早起き』を行い、規則正しい生活を送っている」の項目について「当てはまる(だいたい当てはまる)」と回答する児童の割合を、80%以上にする。(令和4年度は74%)
- ・令和7年度末の本校アンケート調査で、「小・幼・保の連携で、互いの子どもの様子や教育活動について理解が深まった」の項目について、「思う(だいたい思う)」と回答する関係幼稚園・保育所及び本校の教職員の割合を85%以上にする。
- ・令和7年度末の本校アンケート調査で、英語（外国語）、プログラミング教育などについて、それぞれ「楽しい」「わかりやすい」「もっとしたい」の項目について、「当てはまる(だいたい当てはまる)」と回答する児童の割合を、それぞれ85%以上にする。
- ・令和7年度末の本校アンケート調査で、「読書が好き」で「1か月に3冊以上本を読む」

と回答する全校児童の割合を80%にする。

達成状況の評価に関しては妥当であると考える。

ここ数年、学力の結果が全国平均や大阪市平均を上回っていた。今回、課題が見つかっただけでなく、また、気を引き締めて子どもの指導に向き合っていってほしい。地域もできることがあれば協力したい。

また、体力についても、トップアスリートや講師を招くなどの取り組みを継続して続けていってほしい。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

【全市共通目標】

- ・2～6年で、一日1回は一人一台端末を開き、「心の天気」や個に応じた学習に活用する。
- ・週に1回は、「ゆとりの日」を設定し、17時半には全員が退校する。また、1か月の時間外勤務を45時間以内の教職員の割合を、80%にする。
- ・4年生以上で教科担当制を最低学期に1回設定し、教材研究を深める時間を確保する。
- ・地域連携の取組や多様な体験学習により、児童の好奇心・探求心を育み、魅力ある学校づくりを推進する。
- ・学びに関連する様々な学習履歴や行動履歴などの教育ビッグデータを収集し、毎学期ごとに見直し、活用していく。

【学校の年度目標】

- ・4年生以上で教科担当制を最低学期に1回設定し、教材研究を深める時間を確保する。
- ・地域連携の取組や多様な体験学習により、児童の好奇心・探求心を育み、魅力ある学校づくりを推進する。
- ・学びに関連する様々な学習履歴や行動履歴などの教育ビッグデータを収集し、毎学期ごとに見直し、活用していく。

達成状況の評価に関しては妥当であると考える。

学校は、教育環境を積極的に整備してくれている。地域としても大変ありがたい。今後も工事が増えていくとのことであったが、子どものことを一番に考え、取り組みを深めていくための環境を整備してほしい。

教職員の勤務時間や健康についても留意いただきたい。

3 今後の学校園の運営についての意見

【安心・安全】【学力・体力の向上】【教育環境の充実】の成果や課題を分析し、今後の目標設定を明確にして、引き続き子どもたちのために取り組んでほしい。校長が変わることであるが、よい管理職来ていただき、地域に根差した伝統ある大宮小学校として、充実した教育活動を展開してほしいと期待している。

地域も学校のためにできることは連携していきたいと考えている。